

香取市認知症ケアパス

～認知症の人も家族も、いつまでも安心して暮らせる地域づくりを目指して～

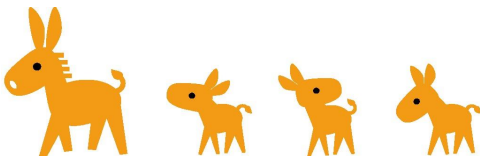
- 認知症ケアパスとは、認知症の進行状態に合わせて、どのような支援が必要になるのか、大まかな目安を示したものです。
- 高齢者の相談窓口は、香取市地域包括支援センターです。相談は無料ですので、どなたでもお気軽にご連絡ください。

佐原地域包括支援センター

☎50-1231（佐原・栗源地区）

小見川地域包括支援センター

☎82-0718（小見川・山田地区）



認知症の段階		元気	認知症の疑い	認知症（軽度）	認知症（中等度）	認知症（重度）
		自立	軽度認知障害（MCI）	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活を送るには 支援や介護が必要	常に専門医療や 介護が必要
本人の様子		●健康づくりや介護予防に取り組む。 ●地域とのつながり（社会参加）を大事にする。	●物忘れが増えるが自覚もある。（人からも言われ始める） ●日常生活は自立しているが、計算間違いなどが増える。	●同じことを何度も聞くようになる。 ●物や人の名前が出てこない。 ●置き忘れやしまい忘れが増える。 ●料理や買い物、金銭管理などが難しくなってくる。	●「物を盗られた」などの発言をする。 ●洋服の着替えがうまくできなくなる。 ●家までの帰り道が分からなくなる。 ●書字・読字が苦手になる。 ●物忘れの自覚がない。	●食事、トイレ、お風呂、移動などの日常生活に関することが、誰かの助けがないと難しい。 ●車いすやベッド上での生活が長くなる。 ●言葉数は少なくなるが、感覚（目・耳・鼻などの機能）は残っている。
家族の心得・対応のポイント		●本人と一緒に認知症予防に関する取り組みを実践する。	●年齢のせいにはせず、気になり始めたら、早めに専門医や各種窓口相談する。	●同じことを聞かれても返答する。 ●何でもかんでも取り上げず、本人ができないことをサポートする。 ●認知症についての勉強や介護保険サービスの利用を開始する。	●さまざまな症状が現れてきて疲れる時期なので、人の助けを借りよう。 ●通所系サービスのみでは困難、訪問系や泊まり系サービスなどの検討をする。	●本人が安心できる環境づくりを心掛ける。 ●最期の迎え方について家族間で話し合いをしておく。
支援の内容	介護予防	介護予防事業 ・ 介護予防サポーター養成講座				
	相談機関	地域包括支援センター ・ 認知症地域支援推進員 ・ 認知症の人と家族の会				
	医療機関	認知症初期集中支援チーム				
	介護保険サービス	かかりつけ医・認知症サポート医				
	安否確認	徘徊高齢者探索サービス事業 ・ 介護保険サービス				
	見守り	民生委員 ・ 緊急通報装置 ・ 見守りネットワーク ・ 配食サービス				
権利擁護		認知症サポーター ・ 認知症カフェ				
		日常生活自立支援事業 ・ 成年後見制度 ・ 消費者センター				

